

ハーモニ-

しんぶん

E-mail:kodomo1@kcv.ne.jp http://hamomira.or.jp/

2022年3月15日発行

第102号

認定特定非営利活動法人
ハーモニネット未来
(旧：子ども劇場笠岡センター)
〒714-0081 岡山県笠岡市笠岡 5909
TEL (0865) 63-4955
FAX (0865) 63-4950

赤い羽根共同募金～「地域から孤立をなくそう」ささえあいプロジェクト～



募金のお礼とご報告

募 金 金 額 : 1,162,600 円 (ご協力者: 105 名)
募 金 期 間 : 2022 年 1 月 1 日～2 月 28 日



ご協力いただきました多くの皆さま、多くの企業に心より感謝申し上げます。
募金額は、互助システム「ふれあい・たすけ愛サービス事業」の充実のために大切な活用させていただきます。

本事業は、介護保険などの制度では対象とならないが、その人らしい生活を送るために必要な生活支援を『困った時はおたがいさま』『大きな家族のように』の合言葉で実施している有償ボランティア(時間通貨)活動です。

2015年の介護保険法改正にともない、「地域支援事業～介護予防日常生活支援総合事業～」が始まっております。その中で互助システムの本サービスが注目されております。

子どもから高齢者まで安心して、自分らしく生活できる地域社会を創っていくためにも、「困ったときはいつでもゆうてーよ おたがいさまなんじゃけ」と大きな家族のようなあたたかい気持ちで行う本サービスを今後も地域住民の皆さまと一緒に広げていきたいと心より願っております。

今後とも、活動を積み重ねることで、誰もが安心して自分の人生を楽しみながら生活できる社会への変革を最大の目的としていきたいと思っております。今と変りないご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」

プロジェクト実施期間: 令和4年1月1日～令和4年2月28日

『困った時はおたがいさま!』では始める互助システム

ふれあい・たすけ愛サービス事業

この活動は、介護保険等の制限サービスでは対象にならないたくさんの方の手助けを地域のみなさんで、おこなう有償ボランティア活動です。

例えば、病院や買い物など一緒に行ったり、ゴミ出しや部屋の掃除、話し相手や食事の準備、さまざまなお手伝いを、大きな家族のような気持ちで行ないます。

このすてきなシステムをあなたの募金とあたたかい想いで次につなげていってください。

募金目標額: 100万円
目的: ふれあい・たすけ愛サービス事業の運営とノウハウの普及

【目次】

赤い羽根共同募金	P1
大井児童館	P2
本が好き	P3
舞台鑑賞	P4～5
食卓に吹く風	P6
子どもの貧困	P7
お知らせ	P8

■行事報告

にこにこタイム

■『お楽しみ会』

3月7日(月)

10:30~11:30

場所：大井児童館

参加者：幼 児 11名

大 人 9名

計 20名

内容：

手遊び

「あたまかたひざぼん」

「さくらんぼん」

「とんとんとんおはなし」

絵本「サンドイッチ」

「たまごのえほん」

エプロンシアター

「ももたろう」

大型ペープサート

「ぞうくんのさんぽ」

フォトフレーム工作

大型絵本

「はらぺこあおむし」

ダンス「春がきたらね」

今年度最後のにこにこタイムは、「お楽しみ会」と題して、いろいろなプログラムを親子や同年齢の子と一緒に楽しみました。

歌やダンスに合わせて身体をのびのびと動かし、今まで手にとって見ていた絵本が大型絵本やペープサート、エプロンシアターで目の前に現れると子どもたちの目がくぎ付けでした。

フォトフレーム工作では、子どもたちが自由な発想で飾り付けをして、それに親子で撮った写真を飾りました。保護者からは「とてもいい記念になったね」と喜ばれました。

最後に参加者みんなで春に見られる植物や生き物に変身するダンスを元気いっぱい踊って盛りあげました。

コロナ禍の中、今年度最後のにこにこタイムでしたが、参加人数の制限を設け、座る場所の間隔を開けることで安心して楽しい時間を過ごすことができました。



大きなぞうさん!
ぞうさんだいじょうぶ?



春になったらチューリップやメダカ、ツバメを見つけられるかな?
みんなでLet's ダンシング♪



写真のまわりにシールを貼ったり
お絵描きしたりかわいくデコレーション♪



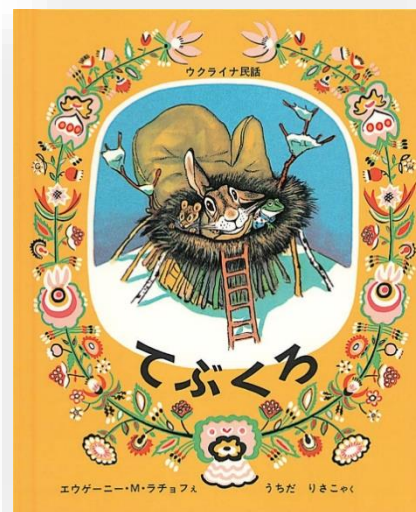
■阿藤美穂子

新型コロナウイルスの感染拡大で不安な日々が続く中、さらに恐ろしい出来事が起こってしまいました。

連日ロシアによるウクライナ侵攻が報道される度に心が痛みます。特に子どもたちが犠牲になったり、避難したりする映像を見ると、涙が出てきます。

この絵本は、ウクライナ民話です。小さな手ぶくろの中に、ねずみや、かえる、うさぎ・・・と次々にいろんな動物が入ってきます。中が狭くなっても、みんな「どうぞ」と入れてくれる。こんな心優しい物語を、ウクライナの子どもたちは、眼を輝かせて聞いていたことでしょう。

一日も早く愚かな戦いが終わり、ウクライナの子どもたちに笑顔がもどることを心から願います。



『てぶくろ』
 絵：エウゲーニー・M・ラチョフ
 訳：うちだ りさこ
 出版社：福音館書店



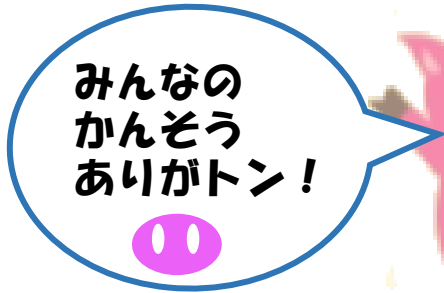
『青い鳥』
 作：重松 清
 出版社：新潮文庫

浅口市内でロケが行われた映画「とんび」が、4月8日から公開されます。見慣れた町並みや風景が、映画の中で、どんな風に写るのか楽しみです。

おなじく阿部寛さん主演の重松作品に、2008年に公開された「青い鳥」があります。

この原作をぜひすべての学校の先生方におすすめします。

中学の非常勤講師の村内先生は、言葉がつかえてうまく話せません。でも、先生には、授業よりも、もっと大事な仕事があるのです。いじめの加害者になってしまった生徒、気持ちを伝えられずに抱え込む生徒、家庭を知らずに育った生徒・・・そんなひとりぼっちの心にそっと寄り添い、本当に大切なことは何かを教えてくれる物語です。



劇団ひとみ座

「はれときどきぶた」

とき: 2021年12月10日(土) 18:30~

会場: 笠岡市保健センターギャラクシーホール

とても楽しかったです。もう中学生になってなかなか興味ないと言っていた長女もすごく楽しんでいてよかったです。ずっと何歳になっても楽しんで見れるのはとてもいいなあと思いました。

ぶたがふってくるころがおもしろかった。

人形の動きが本格的でおもしろかった。

とても面白かった。演出がとてもステキです。ネットなどよりも生で見るのが一番いいなと思いました。

人形を使って上手に劇をしていたのでとてもおもしろかった。

楽しかったです。開演前も子どもたちと話してくださったりして楽しかったです。

のりやすくんがいっぱいにつきをかいているところがおもしろかった。

もう1回見たいです!

またくるね~

みせてくれて
ありがとう♡

おもしろ
かったです

とてもおもしろい
はっそうで歌と組み
合わせてえんじてい
たのでとてもおもしろ
かったです。

人形劇というのを見た
ことがなかったのでいい体験
になりました。ありがとうございました。
またやってほしいです。

とても元気をもらいました。美しい声でした!!

母にはなつかしい話、子どもには初めての話
どんなパターンでも楽しめました!! 笑いあり、
すてきな歌声、人形の動き、すべてにおいて
最高でした。

この度もご招待ありがとうございました

ぶたが降ってくる時、かさを
使って表現していてすごかった。

お母さんの首が伸びたのが
ビックリした。こわかった。



男の子の言うことがとくにおもしろかった。
また、がんばってください。

観ている子供たちの笑顔がキラキラしていて、心から楽しんで
いたと思います。人形の動きや演出に私も子どもに戻ったように楽
しめました! また是非見に来たいです。ありがとうございました。

本の話におもしろいことがたくさんつけたされていたので
おもしろかった(本 もってる)またやってほしい。

歌と共に内容が進められていて、とても面白かったです。
また、小道具がとてもリアルですごいなと思いました。
声もセリフもとても面白くて心がとても弾みました。

子どものころに読んだ絵本だったので懐かしい感じがしまし
た。とても楽しく見させていただきました。ありがとうございました。

明るい団員さんにやられました。孫があんなに笑顔になるな
んてお友だちをさそってよかったです。やっぱり生で見ると
次はいつ?! 来たい!! って言ってくれています。人形の操作も
細かくて素敵でした。

とても楽しい時間を過ごすことができました。
子どもと一緒に笑ってみることができて、
とても良かったです。ありがとうございました。

子どもたちも私も人生初めての人形劇でした。子どもたちは
劇の中にいるようでした。人形劇ってこんなに楽しいなんて
知らなかったです。こんな機会をありがとうございます。

3人だけでやっていると思えないくらいすごかった
です。まだまだつづきが見たくなるような世界に吸
い込まれていくような感覚がしました!!

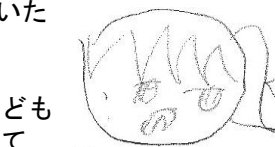
リストバンドがよかった。劇の人がおもしろかった。
全員ギターが上手だった。観客席の照明を消して見
たら? 足の動きがリアル~

ぶたが降ってくる時、かさを
使って表現していた
すごかった。

きれいな舞台と
かわいいぶたと
コミカルな劇が
楽しかったです。

想像の上を行く演出で大人も子どもも楽しめました。途
中後ろの母を振り返った子どもの顔がすごく笑顔でし
た。見れてよかったです。

Tシャツに絵日記や絵が描いてあったり、かさにぶたがい
っぱいついていて小道具がおもしろかったです。お話も
かわいくて楽しかったです。



本日の舞台鑑賞

2022年 3月 19日(土)

笠岡市老人福祉センター

開演 15:00~

(開場15分前 / 上演時間 60分)



津軽三味線

民謡ひきがたり
「蝦名えびなうま 宇摩」



共演 和太鼓奏者
乙倉 俊

私の演奏スタイルは、津軽三味線の独奏、全国民謡の弾き語り、尺八演奏、沖縄三線、奄美の島唄を織り交ぜること。迫力のある津軽三味線の独奏や親しみのある沖縄の三線など、普段なかなか聞くことのない和楽器の生音ならではの空気感や余韻、臨場感をお楽しみください。

蝦名字摩プロフィール

鹿児島県奄美大島出身。本場青森出身・津軽三味線の名手、蝦名流家元・蝦名伴主(えびなばんしゅ)師範に津軽三味線・民謡・尺八・民謡太鼓を学ぶ。後、奄美の島唄や沖縄の民謡も習得。各地民謡大会にて優勝十数回。三味線では、第二回埼玉県津軽三味線大会にて優勝。名取・師範取得2011年3月に東日本大震災に伴う福島原発事故の放射能の影響を恐れ埼玉から母子避難。現在岡山県瀬戸内市牛窓町に在住。



コンサートに登場する和楽器



◆津軽三味線
三味線には太棹・中棹・細棹の3種類があり、津軽三味線は太棹。



◆琉球三線
沖縄ポップスの人気とともに、伝統音楽にとどまらない存在として注目されています

◆尺八
竹筒に、5つの指孔をあけたシンプルな構造の縦笛。標準の長さが「1尺8寸(約54cm)」なので尺八



◆小太鼓

文化デジタルライブラリーより

■食卓に吹く風 (37) ～「戦争反対！」を叫ぶ～

■いのちは 謳歌するもの



■戦争体験を聞く

■ミスリード されないために

今年の冬はけっこう寒い冬でした。さすがに3月になった途端日差しが春色になり、庭のクリスマスローズの白やワインカラーの花茎もグンと伸びて、すいせん類も次々と色を添えています。色の少なかった里山も濃淡の梅の花で華やかになると、自然と心もウキウキしてきます。冬眠から覚める熊の如く、これは生けるものの本能でしょう。

古希を迎え、女性の平均寿命からいっても終盤の序盤に差し掛かってくると、子育ての務めも終えた残りの人生のことを考えます。まだ大人になる少し前17・8歳の頃、人は何故生きるのかと結構堂々めぐりに悩んだことを思い出します。年を重ねると何となくその回答を得た様な気分になります。地球上の生きとし生けるものは全て、貰った命を生き切り、次の世代につなぐべく生まれてきたのです。植物もどんな小さな虫けらも、その命を謳歌すべく(宇宙?それとも神に?)セットされているのだと思えてくるのです。

我が家は米も野菜も果樹(桃・柿)も作っていますが、農業は自然の中の生き生きとした命を感じられる世界です。今の目標は、家の横手に広がる荒れかけた丘を、桜や梅、つつじ、夏は芙蓉や猿滑り、秋は紅葉する樹木などで自然公園にすること。友人と遊び、時にボランティアもしながら人生を謳歌したいものです。

いわゆる団塊世代といわれる私の世代は、戦地から帰った男性を父にもつ、ベビーブームの時代に生まれました。子ども時代の暮らしぶりから思うと、今のネット社会は第2の産業革命といえるほどの躍進ぶりです。技術は進歩しても、人間の本质は変わるべくもなく、長いスパンで見ると歴史は繰り返すといわれています。20世紀は戦争の世紀といわれますが、古代からずっと人類は戦い続けて来たのではないのでしょうか。

親の世代が戦争体験者ですから、まだ感性豊かな若い頃、戦後出版された戦記物を読む機会がありました。国家が始める戦争に巻き込まれる個々人のノンフィクションは、むごたらしく理不尽で、悲しみと怒りの物語。でもそれを伝えていかないと、また、同じ過ちを繰り返すのが人間です。生協の機関誌委員をしていた20年以上前、『私は忘れない』という戦争体験者の話を取材して掲載するページがありました。被爆した方、開拓団として満州に渡った方、シベリアに抑留された方、引揚げ者の方、岡山空襲を体験した方、残留孤児だった方・・・たくさんの人の話を聞き取る経験をしました。「食料の補給もなく、戦死というより、病死か餓死だ。手榴弾での自決の音がアラカン山地のアチコチで響いていた。」というのは、インパール作戦でビルマ(ミャンマー)に派兵された父の話です。

戦争によって命を奪われ、人生を台無しにされた人たち、戦時だから仕方がない運命だったのでしょくか。国民を否応なく運命づける国家ってなんだろうと、深く考えざるを得ませんでした。

今、私たちは、ロシアによるウクライナでの無謀な戦争という、現在進行形の歴史事件をまのあたりにしています。何故こんなことが起きてしまうのか。報道によって国家というものの正体を見せつけられています。プーチンを筆頭に、権力を握る一部の人たちが国家なのです。ドイツではヒトラーのナチスが、日本では軍部が権力を握り、国民をミスリードしました。

この世に生まれ来た稀有な命を、自身の思いで輝かせるのは基本的人権で、戦争は究極の人権侵害です。「戦争反対！」と熱く叫びたい。(石井広子)

■抗議! ロシアのウクライナ侵攻 —なにがあっても戦争はいけない—

■小角靖子

信じられない、「戦争」が起きている。ウクライナで毎日、人が殺されている。戦火を逃れた人は 300 万人以上にもなる。またロシア国内では、反戦活動を行って拘束された人が 1 万 5 千人にもなるという。

普通に暮らしていた人の頭上にミサイルや爆弾を落とし、命を奪い、障がいをおわせ、苦しい逃避行を強いることが、いったい何になるというのか。それをやめよと言う人たちをとり捕まえて、どうするのだ。

毎日報道される戦場の惨状を見て、幼い子どもをもつ母親父親もいろんなことを考えている。自分が産み落とした命のいる世界は戦争のある世界ということが、はっきり分かったのだ。

第二次世界大戦の膨大な惨禍、ベトナム戦争の果てしない惨状、それらはもう忘れられたのだろうか。われわれ人間は忘れやすい生きものだから。

それでも、分かっているはずだ。武器を持つことは、もう世界中でやめなければいけない。武器の最たる核兵器がある以上、それが使われないという確証はない。被爆国日本さえ、アメリカの核の傘が大事なためにせつかくできた核兵器禁止条約に入らないのだから。

核兵器が使われたら、また原発の事故があっても地球環境は放射能に汚染され生物の命の継続はできなくなる。それはもう分かっていることなのだ。

私たちの親の世代は、太平洋戦争の敗戦ののち傷つき、傷つけられて‘ぬげがら、のような状態に陥ったという。そしてその中で、奇跡のような日本国憲法第 9 条が生まれた。憲法第 9 条は「戦争放棄」「戦力はもたない」と言っている。それはまだ世界で実現していない、貴重な理想を掲げている。おぞましい現実のほうが、第 9 条に理想に近づいていく必要がある。武力放棄の理想を早急にうけいれるほか、地球も人間も生き延びることができない。

そもそも、好戦性、憎しみにかられること、プライドに牛耳られる人は権力者にはなれないものとしなければならない。それは投票する側——市民がためされている。それでも人は変わるから「権力者は戦争を発動することは出来ない」という法律がいるのではなかろうか。



宮沢賢治の詩のどこかに「ウクライナの農婦のように」というフレーズがある。ウクライナには豊かな農村があり、農婦たちは幸せそうに赤い頬いっぱいには笑っている。鮮やかな衣装をまとって。農村の暮らしに喜びがある。賢治は日本の貧しくみじめな農村をウクライナのようにしたかったのだらうと思う。

ウクライナに平和を。1 日でも 1 分でも早く。そして豊かなウクライナの姿を取り戻しますように。

■ハーモニーネット未来からのお知らせ

(問い合わせ：0865-63-4955)

2022年 3月からの予定

インターネットから↓

ハーモニーネット未来 検索

クリック

※ホームページでも右記の予定を
みることができます。

※予定は変更する場合があります。
ハーモニーネット未来までお問い
合わせください。

※事務所=ハーモニーネット未来
※「ぴゅあそーる」(事務所 2F)

毎週火曜日 10:00～

※移動ひろば「あおぞら」

毎週火・木曜日 10:00～

※「おはなしの会」

毎週水曜日 10:30～

日程	時間	内容
3/20(日)	10:00～	わくわくどきどきプレイランド(大井児童館)
22(火)	10:00～	ぴゅあそーる(事務所2F)
23(水)	10:30～	子育てひろば「あおぞら」「おわかれパーティ」(事務所2F)
24(木)	10:00～	移動ひろば「あおぞら」(市民活動支援センター)
27(日)		フード&ライフライブ「てとて」
29(火)		ぴゅあそーるお休み
30(水)		おはなしの会お休み
4/5(火)	10:00～	ぴゅあそーる(事務所2F)
9(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)
10(日)	10:00～	文章教室(事務所2F)
23(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)

買い物をしたら、店内設置のボックスに
黄色いレシートを入れてください。
1%が、ハーモニーネット未来に寄付され
ます。 **場所：マルナカ笠岡店**

毎月11日のイオン・デーは、幸せの黄色いレシートの日。
「レシート1枚」でできる支援!

じぶんの買物でだれかを幸せにするしくみ。
イオン 幸せの黄色いレシート
since 2001

あなたが応援したい団体を選んで
レシートをご投函いただくと、
お買上レシート金額合計の1%と同額の品物をその団体に寄贈します。

結果発表 第12回 地域再生大賞

「未来へつなぐ、みんなで」をテーマに審査を進めていた第12回地域再生大賞の各賞が決まりました。人々が暮らす地域を守り、ひとりひとりの個性を生かす現場の取り組みは、新型コロナウイルス禍にひるむことなく、たくましく各地で展開しています。全国46の新聞、共同通信社の推薦、NHKの協力で集まった推薦団体の活動は例年にも増してすばらしく、4人の選考委員による視察、審査は簡単ではなかったようです。認定NPO法人ハーモニーネット未来は、その中の“選考委員長賞”を頂きました。

第12回 選考委員長賞

認定 NPO 法人ハーモニーネット未来 安心社会へ支え合い30年

※選考委員評価※

子どもに舞台芸術に親しんでもらう活動からスタート。岡山県南西部で30年以上、あらゆる世代、障害のある人や生活困窮者など全ての人々が安心して暮らせる地域に向け活動を広げてきた。買い物の代行や病院への付き添いなどを有償ボランティアで住民同士が支え合う仕組みは250人が会員登録、年間8千件近くの利用がある。子ども食堂や学習支援、多世代の居場所や障害児の活動の場づくり、ドメスティックバイオレンス(DV)被害者らの共同住宅、太陽光発電など事業は多岐にわたる。NPOへの土地建物の寄贈に対する非課税措置も実現、国の制度改革につなげた。

